

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成24年8月16日(2012.8.16)

【公表番号】特表2008-547026(P2008-547026A)
 【公表日】平成20年12月25日(2008.12.25)
 【年通号数】公開・登録公報2008-051
 【出願番号】特願2008-518398(P2008-518398)
 【国際特許分類】

G 0 1 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 B 21/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月26日(2012.6.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レーザトラッカと、

再配置可能な有関節座標計測機と、

前記有関節座標計測機に配置されたレトロリフレクタと、
を備え、

前記レーザトラッカは、前記レトロリフレクタにレーザビームを出射して、第 1 の座標系における前記レーザトラッカに対する前記レトロリフレクタの位置を少なくとも 3 通り計測し、一方で前記有関節座標計測機は、第 2 の座標系における前記有関節座標計測機に対する前記レトロリフレクタの位置を少なくとも 3 通り計測し、

前記有関節座標計測機が、別の場所に配置され、前記レーザトラッカは、前記レトロリフレクタにレーザビームを出射し、前記第 1 の座標系における前記レーザトラッカに対する前記レトロリフレクタの位置を少なくとも 3 通り計測し、一方で前記有関節座標計測機は、前記第 2 の座標系における前記有関節座標計測機に対する前記レトロリフレクタの位置を少なくとも 3 通り計測し、

前記第 1 の座標系及び前記第 2 の座標系のうち少なくとも一方を共通の基準座標系に変換する手段を備える、

座標計測システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の座標計測システムであって、前記レーザトラッカは、所定の位置に固定されている座標計測システム。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の座標計測システムであって、前記レトロリフレクタは、球殻装着型レトロリフレクタである座標計測システム。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の座標計測システムであって、前記レトロリフレクタは、反射性キューブコーナを有する座標計測システム。

【請求項 5】

有関節座標計測機と、

レーザトラッカと、

前記有関節座標計測機に配置されたレトロリフレクタと、
を備えるレーザ式対物計測機であって、

前記レーザトラッカは、前記レトロリフレクタにレーザビームを出射して、第 1 の座標系における前記レーザトラッカに対する前記レトロリフレクタの位置を少なくとも 3 通り計測し、一方で、前記有関節座標計測機は、第 2 の座標系における前記有関節座標計測機に対する前記レトロリフレクタの位置を少なくとも 3 通り計測し、

前記有関節座標計測機が、別の場所に配置され、前記レーザトラッカは、前記レトロリフレクタにレーザビームを出射し、前記第 1 の座標系における前記レーザトラッカに対する前記レトロリフレクタの位置を少なくとも 3 通り計測し、一方で、前記有関節座標計測機は、前記第 2 の座標系における前記有関節座標計測機に対する前記レトロリフレクタの位置を少なくとも 3 通り計測する、

レーザ式対物計測機。